HITACHI

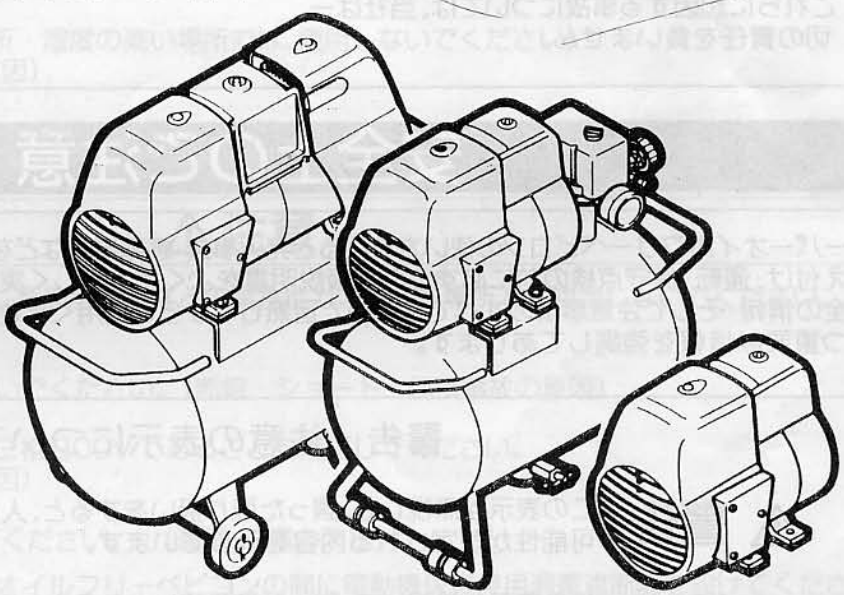
取扱説明書

小型空気圧縮機

日立スーパーオイルフリーベビコン LSシリーズ

型式

0.2LP-7SO	0.4LP-7SAO	0.75LP-7SO
0.2LP-7TO	0.4LP-7TAO	0.75LP-7TO
0.2LP-7S	0.4LP-7SA	0.75LP-7S
0.2LP-7T	0.4LP-7TA	0.75LP-7T



圧力単位について

本取扱説明書の圧力単位は『MPa（メガパスカル）』表示です。
従来単位『kgf/cm²』との換算は下表の通りです。

圧力単位	kgf/cm²	3.5	5	6	7	8
	MPa	0.34	0.49	0.59	0.69	0.78

（換算率は、1kgf/cm² ＝ 0.0980665MPa です。）

このたびは日立のスーパーオイルフリーベビコンをお買い上げいただきありがとうございました。ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよく読みその内容に沿って正しく実施してください。

この「取扱説明書」をよく読み、大切に保管してください。

CMOB 33Y-06

お　願　い

○ この取扱説明書は、運転および保守点検を担当される取り扱い者の手近な所に保管しておいてください。なお、製品の保証については、P.23 を参照してください。

○ この取扱説明書・製品貼付の注意銘板の内容をよく読み、据え付け・運転・保守点検を実施してください。

○ 据え付け・運転・保守点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、安全の情報や注意事項・操作・取り扱い方法などの指示に従い、正しくご使用ください。

○ 常に、この取扱説明書に記載してある使用範囲を守ってご使用ください。また、正しい保守点検を行い、故障を未然に防止するようお願いします。

○ この取扱説明書に記載していない操作・取り扱い、日立純正部品以外の交換部品の使用や改造などを行わないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。これらに起因する事故については、当社は一切の責任を負いません。

○ この取扱説明書で理解できない内容・疑問点・不明確な点がございましたら購入先または最寄りの日立サービスステーション(P.23)にお問い合わせください。

○ この取扱説明書に記載してある内容については、機器の改良などのため将来予告なしに変更することがあります。

○ 運転不能・故障などが発生した場合は、すみやかに次のことを最寄りの日立サービスステーション(P.23)にご連絡ください。

- お客さまのご住所・お電話番号
- 機種・型式・製造番号など
- 異常内容(異常発生前後の状況を含め、できるだけ詳細に)

○ この製品は日本国内用として製造していますので、海外では使用しないでください。

○ 本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載したり、複写しないでください。

安全上のご注意

スーパーオイルフリーベビコンの使い方を誤ると発火事故・感電事故などを起こす場合があります。
据え付け・運転・保守点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み正しく実施してください。機器の知識・安全の情報・そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。警告・注意の表示は危険かつ重要な情報を強調してあります。

警告・注意の表示について

⚠ 警告　この表示が無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重　傷：　失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
負　傷：　治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などを指します。
物的損害：　財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

禁止

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

これらの安全上の注意は、日立のスーパーオイルフリーベビコンの安全に関して、より重要な面を補う提案です。お客さまは、機器・施設の安全な運転および保守のために各種規格・基準に従って安全施策を確立してください。
日立産機システムは、お客さまがこれらの安全上の注意を無視した結果の責任は負いかねます。

安全上のご注意(続き)

特に安全上注意していただきたい内容について記載します。この他にも注意していただきたい項目が本文中に記載してありますので順守願います。

⚠警告

○スーパーオイルフリーベビコンで吸入圧縮·圧送できるガスは空気のみです。空気以外のガス圧縮や圧送には絶対に使用しないでください。(火災·破損等の原因)

○スーパーオイルフリーベビコンの吐き出し空気の中には、大気中のじん埃や各種ガス、リップリングの磨耗粉、および配管内の錆が含まれますので直接吸引する呼吸器用のエアー源には直接使用しないでください。(傷害事故の原因)

○重要設備に使用される場合は必ず予備機、または補助設備を準備してください。故障やサーマルプロテクタの作動などにより、圧縮機が停止する場合があります。(損害の防止)

据え付けするとき

⚠警告

○近くに爆発性·引火性ガス(アセチレン·プロパンガスなど)·有機溶剤·爆発性粉じんおよび火気のない場所で使用してください。
(火災·事故の原因)

○雨や蒸気などの水分のかかる場所・湿度の高い場所では、使用しないでください。
(漏電·各部の発錆·寿命低下の原因)

○室温は圧縮機運転中で0～40℃の範囲で使用してください。
(軸受寿命低下·焼付·破損の原因)

⚠注意

○アンモニア·酸·塩分·オゾンガス·亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。
(発錆·寿命低下·破損の原因)

○電源コードに無理な力を加えないでください。(断線・ショート・焼損事故の原因)

○元電源が規定電圧、単相100V三相200Vであることを確認してください。
(起動不良·電動機焼損などの原因)

○必ず、接地(アース)工事を行ってください。 (漏電·感電の防止)

○電源は、必ず元電源とスーパーオイルフリーベビコンの間に電動機保護兼用漏電遮断器を設けてください。
(漏電・感電事故・電動機焼損の防止)

○元電源は、規定以上の容量としてください。(起動不良・電動機焼損の防止)

○延長コードの接続をさけ、直接元電源に接続してください。(起動不良・電動機焼損の防止)

○延長コードでの他の機器との併用はさけてください。(起動不良・電動機焼損の原因)

○ゴミ・ホコリの多い場所でのご使用はしないでください。(過熱事故・異常磨耗の原因)

○圧縮機と空気タンクの接続は、
0.2kW ：呼び径φ10、長さ400mm以上
0.45kW ：呼び径φ10、長さ400mm以上
0.75kW ：呼び径φ10、長さ500mm以上の銅継目無管をご使用ください。
(起動不良・電動機焼損の防止)

○配管は確実につないでください。(空気漏れ、および配管抜けによる事故の防止)

安全上のご注意(続き)

運転するとき

⚠警告

タンク搭載型
○止め弁に接続するホースは、耐熱70℃以上、耐圧1.18MPa以上、呼び径6mmのホースをご使用ください。（破裂事故の防止）

○ホースはホースバンドで確実につないでください。（抜けによる事故防止）

○ドレンおよび吐き出し空気には、大気中の水分及び磨耗粉、錆などが含まれます。顔に向けてドレンおよび吐き出し空気を排出しないでください。（失明の原因）

○落としたり、ぶつけたりしますと、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中に圧力により破損片が飛散し、人身事故につながる場合があります。

○空気タンクなどに変形や破損および、ねじの緩みがある場合はそのまま使用せずに購入先または、最寄りのサービスステーションに連絡し、修理してください。

○電源コードを無理に引っ張らないでください。断線やショートの原因となり焼損事故につながります。

⚠注意

○電圧の低い状態および高い状態で使用されますと性能低下さらに、故障の原因となり製品寿命を短くしますので適正な電源でご使用ください。（寿命低下の防止）

○停電および雷の場合、必ず元電源を切ってください。（破損・事故の防止）

保守点検のとき

⚠警告

○保守・点検作業の時は、必ず元電源を切り、空気タンクの圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。（感電・けがの防止）

○リップリング・各軸受・シリンダは標準的な仕様で6000時間以上の使用は絶対にしないでください。3000時間および6000時間の点検整備は最寄りのサービスステーションに依頼してください。（破損・事故の原因）

○保守・点検を定期的に実施してください。実施については10ページをご参照してください。

○製品の改造および部品の改造は、絶対にしないでください。（破損・事故の原因）

○空気タンクにエアー漏れがある場合は絶対に使用しないでください。また、エアー漏れ箇所の補修、改造も絶対に行わないでください。（破損・破裂による人身事故の原因）

⚠注意

○1ヶ月以上ご使用にならない場合は、保管前にドレン抜きを全開にし5分以上の運転を行い、錆び付きを防いでください。また運転を再開する場合、必ず5分以上の無負荷運転を行ってください。（異常摩耗・破損・事故の防止）

はじめに

本取扱説明書は、スーパーオイルフリーベビコンの仕様・構造・据付・運転・保守点検に関する説明書です。
本取扱説明書にはスーパーオイルフリーベビコンの機能を円滑に、かつ安全に発揮させるために必要な操作方法が記載されています。

騒音規制法および振動規制法

規制範囲、規制基準値などは、各都道府県により異なりますので、詳細は管轄の区・市役所または、町村役場の公害担当課までお問い合わせください。

電気設備に関する技術基準について

電気配線にあたっては電気設備基準および内線規定に従ってください。

1.電源は必ず電動機保護兼用漏電遮断器を通して1台づつ単独で接続してください。

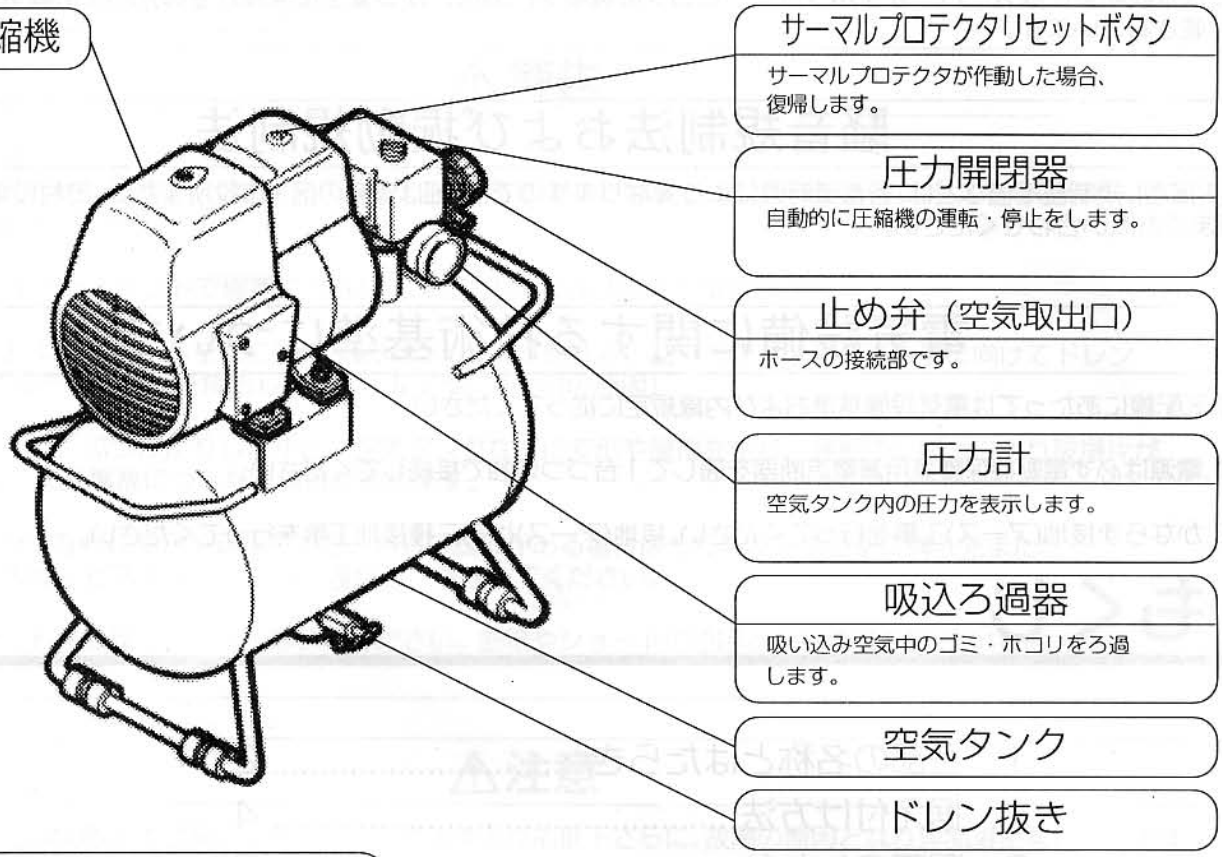
2.かならず接地(アース)工事を行ってください。接地(アース)は第三種接地工事を行ってください。

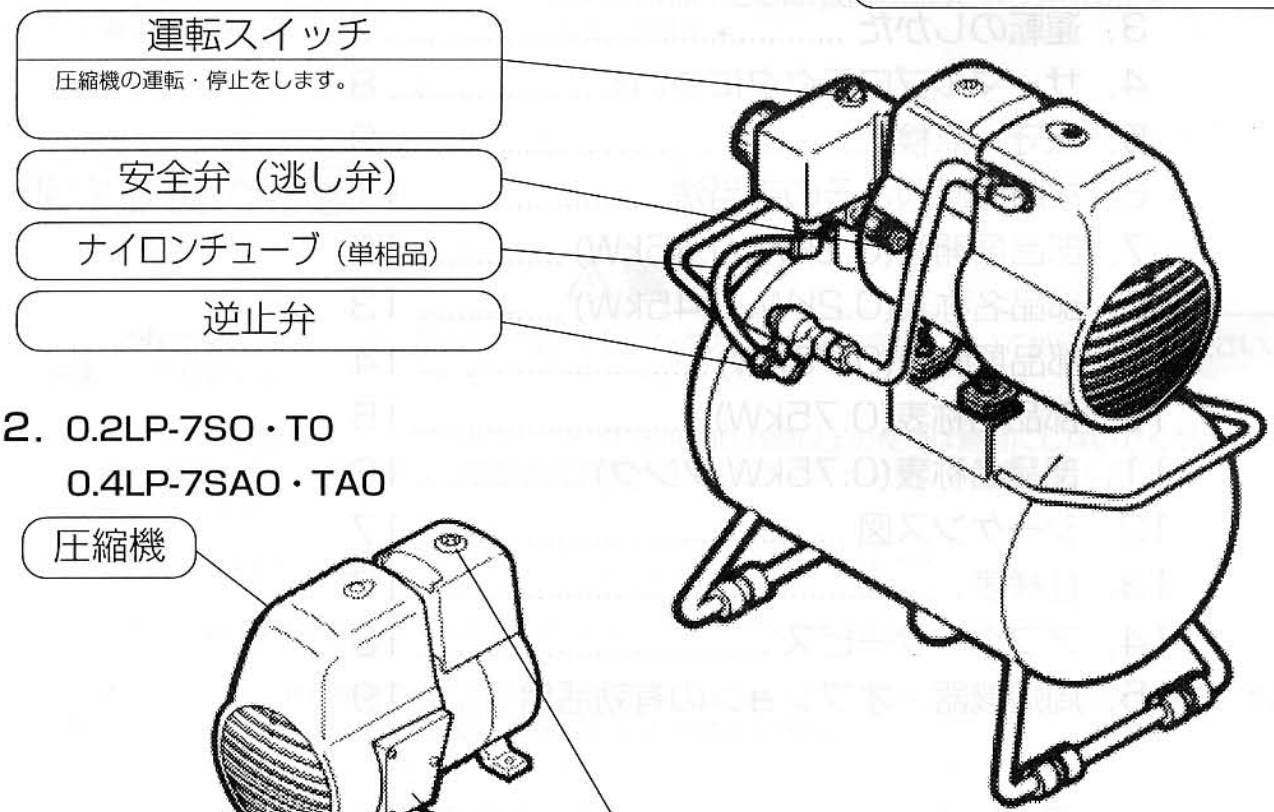
もくじ

1. 各部の名称とはたらき 2
2. 据え付け方法 4
3. 運転のしかた 7
4. サーマルプロテクタについて 8
5. 保守・点検 9
6. 故障の原因とその手当法 11
7. 部品展開図(0.2kW、0.45kW) 12
8. 部品名称表(0.2kW、0.45kW) 13
9. 部品展開図(0.75kW) 14
10. 部品名称表(0.75kW) 15
11. 部品名称表(0.75kW タンク) 16
12. シーケンス図 17
13. 仕様表 17
14. アフターサービス 18
15. 周辺機器・オプションの有効活用 19

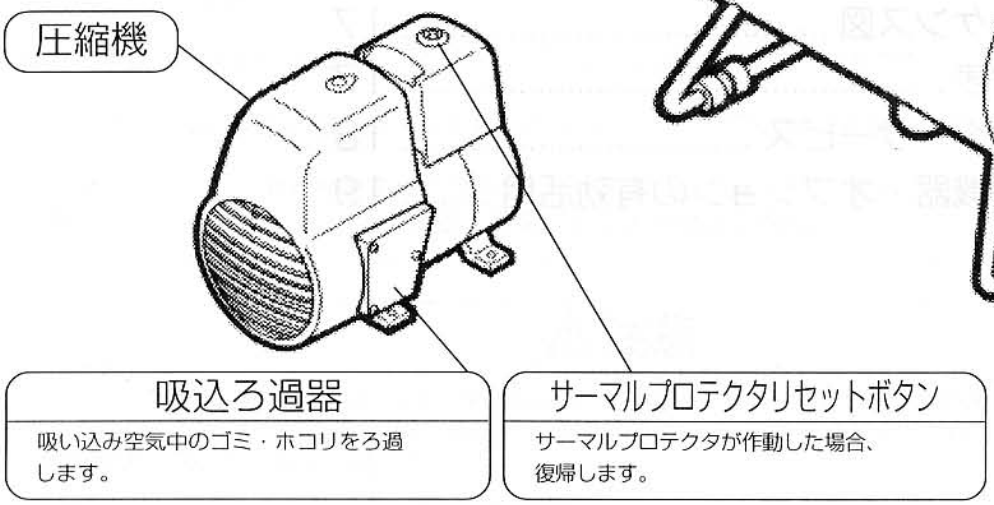
1. 各部の名称とはたらき

1. 0.2LP-7S・T、0.4LP-7SA・TA

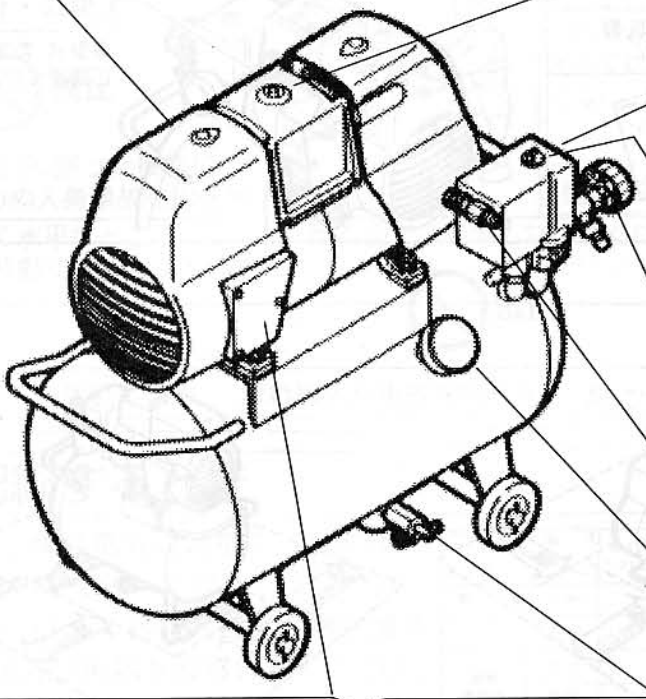


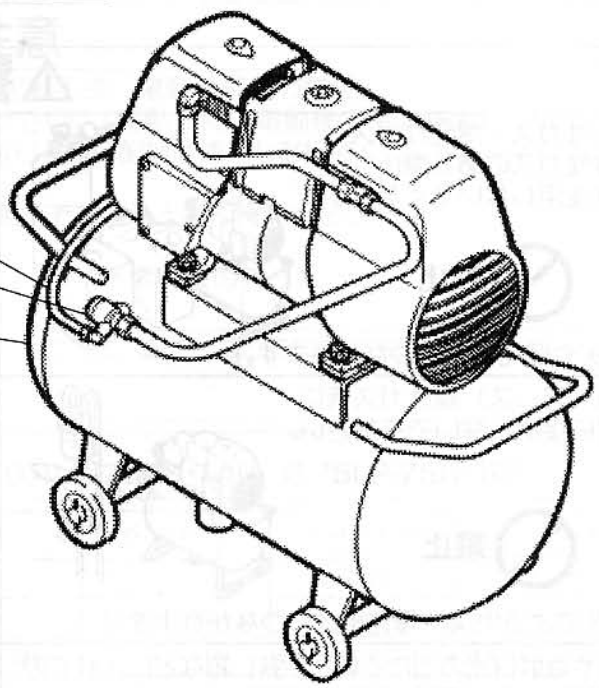


2. 0.2LP-7SO・TO
0.4LP-7SAO・TAO

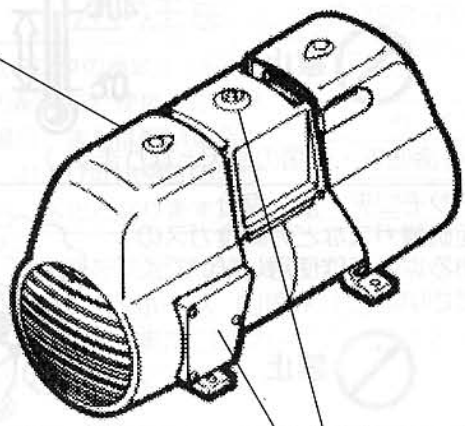


1. 0.75LP-7S・T





2. 0.75LP-7SO・TO

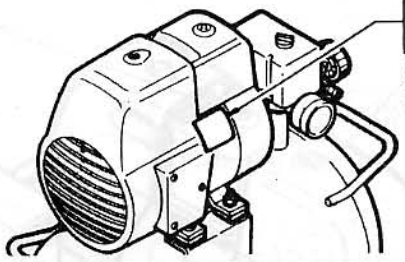


2. 据え付け方法

1 現品の確認

1．型式銘板によりご注文どおりの型式をお確かめください。
2．輸送中の破損、変形箇所がないかお確かめください。
3．付属品があるかお確かめください。

取扱説明書
1部

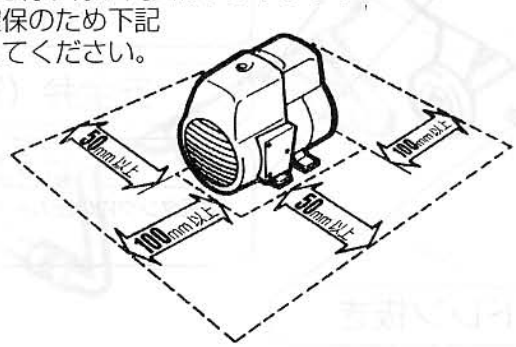


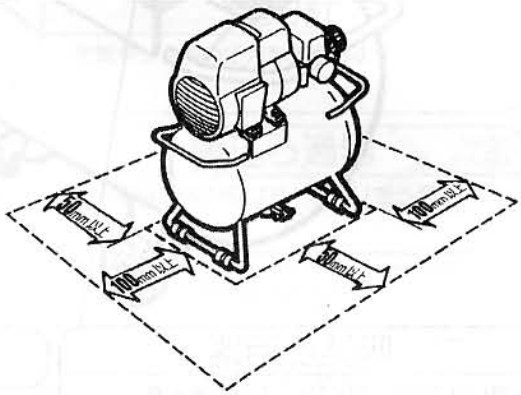
型式・仕様銘板

●型式、製造番号仕様をご確認ください。

2 据え付けするとき

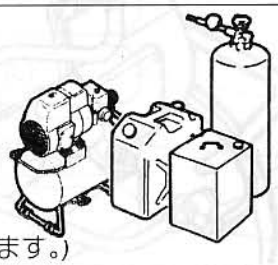
1．圧縮機の据え付けを行う際、周囲はメンテナンスおよび吸排気の確保のため下記スペースを確保してください。





⚠警告

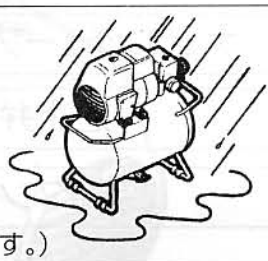
引火性ガス・爆発性ガス・腐食性ガスのある場所では使用しないでください。



禁止

（火災や爆発事故につながります。）

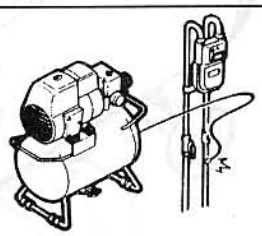
雨・濡れた場所・蒸気などの湿気の多い場所での保管、ご使用はしないでください。



禁止

（感電事故、発錆による製品寿命の低下につながります。）

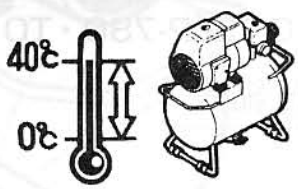
接地（アース）線はガス管に絶対に接地しないでください。



禁止

（ガスによる火災・爆発事故につながります。）

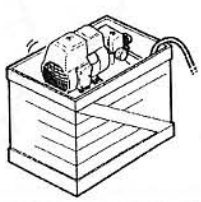
凍結温度0℃および外気温度が40℃を越えるところでは使用しないでください。



禁止

（寿命低下・破損の原因となります。）

高温や直射日光の当たる場所や狭い箱などに入れてのご使用はしないでください。
また、吸気・排気口をふさぐ状態では使用しないでください。



禁止

（圧縮機の温度が上がり製品寿命が短くなります。）

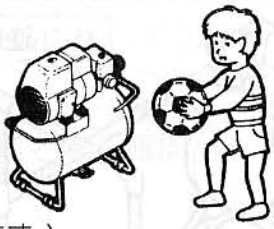
アンモニア・酸・塩分・亜硫酸ガスなどの腐食ガスのある場所では使用しないでください。

禁止

（発錆により製品寿命が短くなります。）

⚠警告

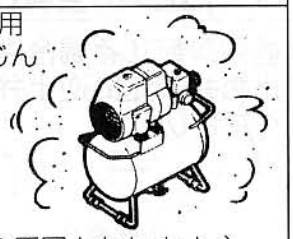
作業関係者以外は近づけないでください。



禁止

（いたずらや、誤った操作により思わぬ人身事故を招きます。）

ゴミ・ホコリの多い場所では使用しないでください。鉄粉・粉じん・砂じんなどの異物がかかる場所では使用しないでください。



禁止

（摺動部の過熱事故・異常磨耗の原因となります。）

床面が硬く水平なところに接地し、傾斜面では使用しないでください。接地場所によっては運転中に移動する場合があります。

禁止

（製品の落下や移動により、 思わぬ人身事故を招きます。）

3 配線するとき

1．電気工事は電気設備基準、および内線規定に従って行ってください。

2．電源には、１台ごとに電動機保護兼用 漏電遮断器を設置してください。

3．配線の容量は右表のとおりです。

項目＼型式		0.2LP-7S 0.2LP-7SO	0.2LP-7T 0.2LP-7TO	0.4LP-7SA 0.4LP-7SAO	0.4LP-7TA 0.4LP-7TAO	0.75LP-7S 0.75LP-7SO	0.75LP-7T 0.75LP-7TO
電線 mm²		2.0（長さ2500mm以下）					
ヒューズ A		10	5	20	10	20	10
漏電遮断器	型式	MEB－50E ※					
	定格電流(A)	4	2.5	10	4	16	7.1

※型式は日立製です。同等製品をご使用になる場合は、定格にご注意ください。

⚠注意

○元電源が規定の電圧であることをご確認ください。（起動不良・電動機焼損の防止）
○延長コードの接続を避け、直接元電源に接続してください。（起動不良・電動機焼損の防止）
○規定未満の細い配線や運転時に２%以上の電圧降下を生じる長い配線は使用しないでください。
（起動不良・電動機焼損の原因）
○運転電圧が、単相品は 90V、三相品は 180V 以上の電圧であることをご確認ください。
（起動不良・電動機焼損の防止）
○必ず第三種接地の接地（アース）工事を行ってください。（感電事故の防止）
○配線接続のビスは確実に締めてください。（過熱事故の防止）

4 配管するとき

⚠注意 (0.2LP-7SO･TO、0.4LP-7SAO･TAO、0.75LP-7SO･TO)

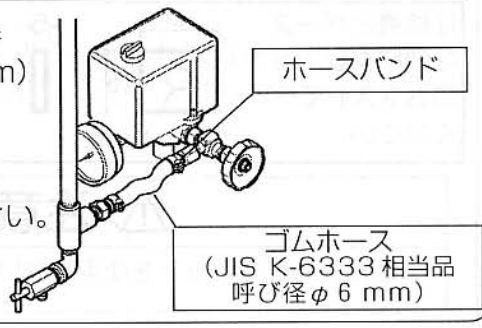
○圧縮機と空気タンクの接続する配管は下記仕様の配管をご使用ください。
○配管が細い場合、または短い場合には起動不良、および吐出空気の温度による逆止弁の劣化となります。

	0.2kW	0.45kW	0.75kW
呼び径	φ10	φ10	φ10
長さ	400mm以上	400mm以上	500mm以上
銅継目無管	JIS H3300(C1220T-0)		

1．振動による損傷を防止するため、空気タンク接続の止め弁継手には耐圧、耐熱ゴムホース（JIS K-6333 相当品 呼び径φ 6mm）をご使用ください。またゴムホースは 必ずホースバンドで固定してください。

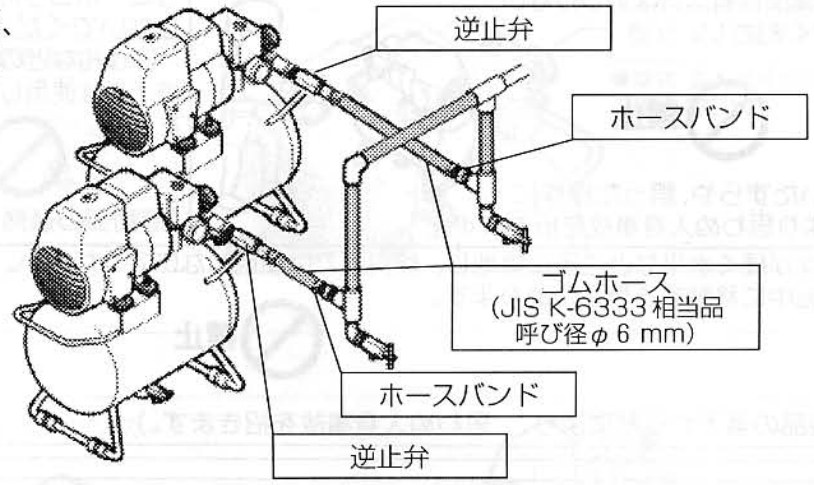
2．立ち上がり配管する場合は、下部にドレン抜きを設けてください。

3．配管は確実につないでください。



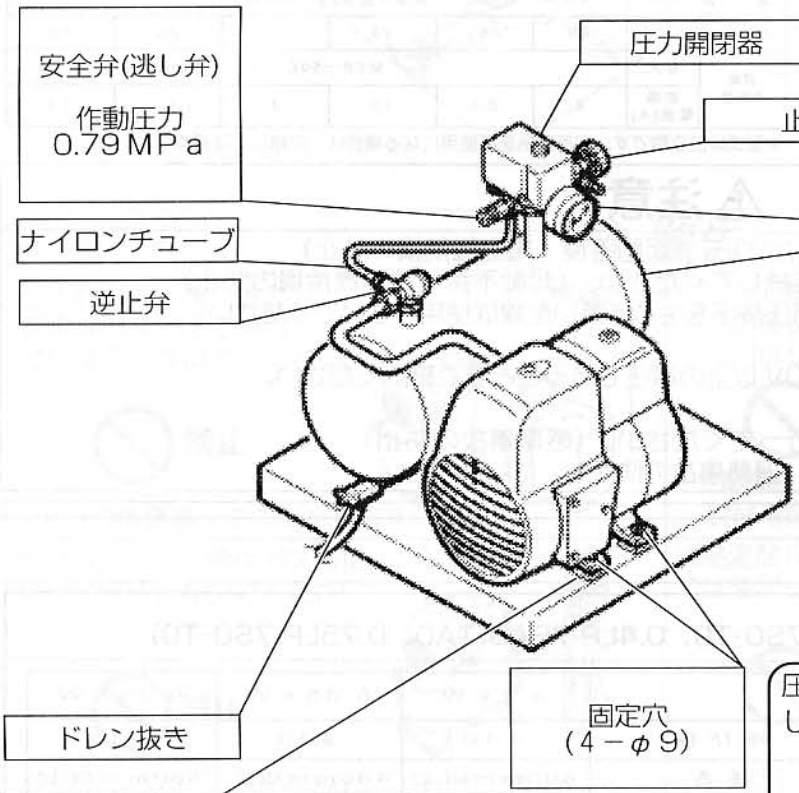
5 並列運転するとき

並列運転する場合は必ず各１台毎、止め弁の先に逆止弁を取り付けてください。



6 据え付け要領 <参考例> (0.2LP-7S0･T0、0.4LP-7SA0･TA0、0.75LP-7S0･T0)

据え付けは次の点を注意し行ってください。



空気タンク

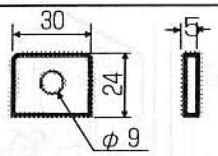
⚠ 注意

○空気タンクには安全弁(逃し弁)および圧力計を必ず取り付けてください。

○0.75LP－7S0･T0 には 12 L 以上の空気タンクをご使用ください。

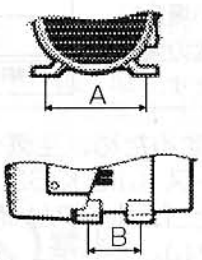
クッションゴム

圧縮機とベースの間にクッションゴムを入れてください。



(参考)
材質：NBR相当
硬度：70°

圧縮機は必ずボルトなどで確実に固定してください。



機種＼ピッチ	A	B
0.2 kW	130	65
0.4 kW	124	122
0.75 kW	124	210

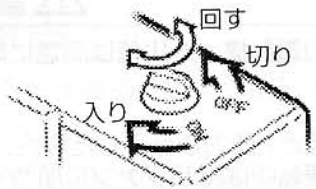
⚠ 注意 (0.2LP-7S0･T0、0.4LP-7SA0･TA0、0.75LP-7S0･T0)

○起動負荷軽減キットを使用しない場合、圧力下での再起動はできません。

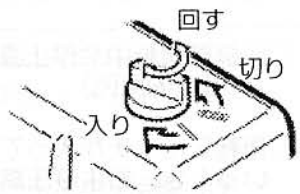
3. 運転のしかた

1 試運転

1．試運転前にボルトやねじに緩みがないかご確認ください。
2．電源を入れる前に運転スイッチが「切り」になっていることをご確認ください。



0.2LP-7S
0.4LP-7SA
0.75LP-7S

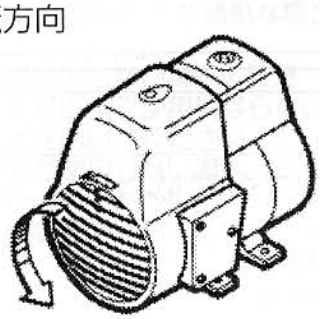


0.2LP-T
0.4LP-7TA
0.75LP-7T

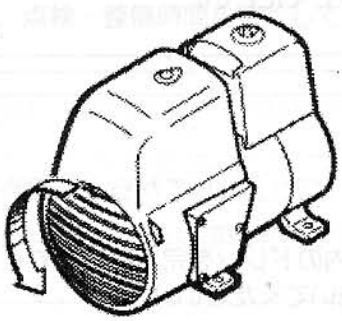
⚠ 注意(三相品)

○圧縮機（冷却ファン）の回転方向が、ファンカバーの矢印の方向と合っていることをご確認ください。
回転方向が逆の場合、冷却不良となり破損等の事故に至ることがありますので電源の三相のうち二相を入れ替えてください。
○圧縮機（冷却ファン）が逆回転の場合、冷却風不足となり圧縮機は異常過熱します。
（圧縮機の過熱による破損・事故の原因）

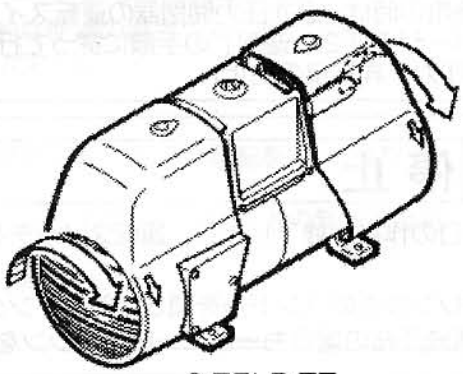
回転方向



0.2LP-7T
0.2LP-7TO



0.4LP-7TA
0.4LP-7TAO



0.75LP-7T
0.75LP-7TO

2 運 転

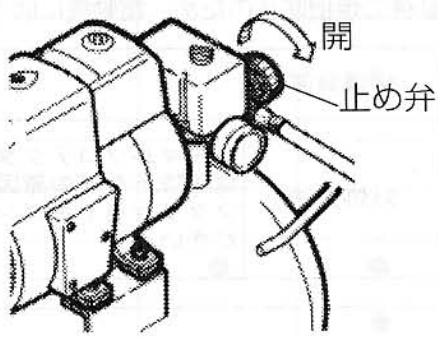
止め弁を閉じて、運転スイッチを「入り」にしたとき以下のことをご確認ください。

1．圧縮機が運転すること
(単相品では起動時に約４秒間アンロード運転をします)

2．空気タンク内部の圧力が上昇すること

3．運転停止圧力0.69MPaになると 圧力開閉器が作動し、圧縮機が停止すること。

4．止め弁を徐々に開いて空気タンク内部の 圧力を下げ、運転開始圧力0.49MPaで圧縮機が運転を再開すること。
（圧力開閉器のＯＮ-ＯＦＦ間隔は１０秒以上としてください。）



5．圧力開閉器の作動圧力範囲（0.49MPa～0.69MPa）において運転スイッチを「切り」にした場合、タンク内圧力が0.49MPa以下になるまで運転スイッチを「入り」にしても運転しません。

6．異常振動や、異音がないことをご確認ください。

⚠警告

○圧縮機運転中や停止直後の電動機・吐出管は高温になっています。絶対に触らないでください。
（やけどの原因）

○運転スイッチが入っていると、圧力が低下した場合、自動的に運転を再開します。運転スイッチが入っているとき、および圧縮機運転中は冷却ファンに顔や手を近づけないでください。
（けが・事故の原因）

○元電源または運転スイッチを切ったのち、すぐに再度運転を行う場合は、１０秒以上の間隔をとってください。
（短時間でＯＮ－ＯＦＦを繰り返しますと起動不良を起こします。）

○圧力開閉器が故障し圧力が規定以上に上昇した場合、安全弁（逃し弁）が作動し圧縮空気が噴出することがあります。圧縮機運転中は安全弁（逃し弁）に顔を近づけないでください。
（けが・事故の原因）

○停電の時は、必ず圧力開閉器の運転スイッチを「切り」にしてから元電源を切ってください。再運転は 8 ページの「２．運転」の手順に従って行ってください。
（圧力上昇不良の防止）

3 停止

１．一日の作業が終了したら、運転スイッチを「切り」にしてから、元電源を切ってください。

２．ドレン抜きのハンドルを開き、空気タンク内のドレンを完全に抜いてください。
（連続運転の場合も一日に一度はドレンを抜いてください。）

4. サーマルプロテクタについて

電動機の焼損防止のため、電動機には手動復帰式サーマルプロテクタを設けています。

保護装置	手動復帰式サーマルプロテクタ
対処方法	サーマルプロテクタが作動した場合は運転スイッチを切り、使用電源の欠相および電圧降下などの原因を取り除き、しばらく（５分程度）してから「サーマルプロテクタリセットボタン（コンデンサカバー上部）」を押して運転スイッチを入れてください。

⚠警告

○サーマルプロテクタが頻繁に作動する場合は圧縮機の故障が考えられます。その場合はそのまま使用せずに、最寄りのサービスステーションに連絡し、修理を依頼してください。
（事故・破損の防止）

5. 保守・点検

スーパーオイルフリーベビコンを良い状態で永くご使用いただくために、日常点検が大切です。運転時間を常に確認し、１１ページの一覧表の時期で点検･整備を実施してください。

⚠警告

○保守・点検作業の時は、必ず元電源を切り、空気タンクの圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。（感電・けがの防止）

○リップリング・各軸受・シリンダは、標準的な使用で６０００時間が交換時間です。６０００時間以上の使用は絶対しないでください。（破損・事故の原因）

○シリンダヘッドをはずした場合は必ずOリングを交換してください。

○点検・整備を実施しないで運転を継続した場合、重大な事故（破損）に至る場合があります。必ず点検・整備を実施してください。（破損・事故の防止）

⚠ 注意

○１１ページの点検・整備一覧表にあげた点検・整備時間は、標準的な使用の場合です。使用状態（温度、湿度など）が過酷な場合は、点検・整備時間を短くしてください。

○長時間使用しない場合の注意

1．１ヶ月以上ご使用にならない場合は、保管前にドレン抜きを全開にし５分以上の運転を行い、錆び付きを防いでください。
2．長時間使用しない場合、湿気によりグリスの寿命が低下します。月に１度３０分間以上の無負荷運転を行ってください。
3．また運転を再開する場合、必ず５分以上の無負荷運転を行ってください。

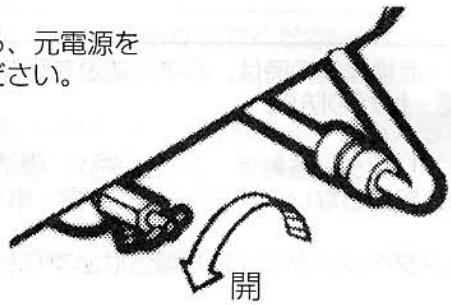
1 点検・整備

点検項目	要領・処理	点検整備時間			
		日常 (毎日)	250hまたは 1ヶ月毎	3000h または1年毎	6000h または2年毎
ドレン抜き	ドレン排出	○			
制御機器の作動(圧力計・圧力開閉器・安全弁［逃し弁］)	作動圧力、作動機能を確認(交換時は最寄りのサービスステーションに依頼してください)	○		○	●
異常振動・異常音など		○			
ボルト、ナット、ネジ類の緩み	緩みのある場合は増し締め		○		
吸込ろ過器フィルタの目詰まり	異物をエアー吹き		○	●	●
空気弁の洩れ	最寄りのサービスステーションに依頼してください。			○	●
リップリング・シリンダ				○	●
Oリング		分解した際は必ず交換してください			
玉軸受				○	●
逆止弁				○	●

点検･整備一覧表において○印は運転開始後、あるいは部品交換からの点検時間を示し異常がある場合は交換をサービスステーションにご依頼ください。また●印は部品交換時間を示します。

2 日常の点検

1．ドレン抜き
一日の作業が終わりましたら運転スイッチを「切り」にしてから、元電源を切り、空気タンク内のドレンおよび圧縮空気を完全に抜いてください。
（連続運転の場合も一日に一度はドレンを抜いてください。）



2．圧力計の作動確認
空気タンクの空気を抜き大気圧としたときに、
圧力計の指示が 0 MPa になることをご確認ください。
作動が異常の場合は圧力計を交換してください。

3．圧力開閉器の作動確認
圧縮機を運転し、下記圧力で運転を停止することを、また圧力を下げ、同様に下記圧力で運転を再開することをご確認ください。

運転停止圧力	運転開始圧力
0.69MPa	0.49MPa

圧力開閉器の設定圧力を調整を必要とする場合は、購入先、または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

4．安全弁（逃し弁）の作動確認
安全弁（逃し弁）は圧力開閉器などの故障で圧力が右記の設定圧力以上になると作動して、空気タンク内の圧力を下げ、圧縮機や電動機の過負荷を防止します。
安全弁（逃し弁）が作動する場合、または漏れがある場合は最寄りのサービスステーションにご相談ください。

安全弁（逃し弁）作動圧力
0.79MPa

3 250 時間毎の点検

1．ボルト・ナット・ねじ類の緩み点検
圧縮機のボルト・ナット・ねじ類に緩みがないかご確認ください。緩みがある場合は正規のスパナ・ねじ回しにて完全に締め付けてください。

2．吸込ろ過フィルターの点検・清掃
吸込ろ過器の中のフィルターを取り出し、付着しているじん埃やゴミ等をエアー吹きし除去してください。エアー吹きの際、じん埃やゴミが目や口に入らないように注意してください。フィルターの汚れがひどい場合は新品と交換してください。

4 3000 時間および 6000 時間毎の点検・整備

11 ページ点検・整備一覧表の 3000 時間毎、および 6000 時間毎の点検・整備は最寄りのサービスステーションに依頼してください。

6. 故障原因とその手当法

●万一故障の場合は、原因とその手当法について下表にまとめましたのでご活用ください。

現象		原因	手当法
起動する	圧力が上昇しない、または上昇するのに時間がかる	ドレン抜き、止め弁の洩れ	締めても洩れる場合は交換
		Oリング、ねじ部のシール不良	増し締め、Oリングの交換
		配管の洩れ	増し締め
		安全弁（逃し弁）からの洩れ	新品と交換
		空気弁の不良	清掃、または交換
		吸込ろ過器の目詰まり	清掃、または交換
		リップリングの磨耗	新品と交換
		圧力開閉器の故障	新品と交換
		圧力計の指示不良	新品と交換
	最高圧力以上に圧力が上昇する	圧力開閉器の故障	調整または交換
		圧力計の指示不良	新品と交換
	異音が発生する	吐出弁座と吸込弁座の当たり	サービスステーションで修理
		軸受の不良	サービスステーションン で修理
		設置不良	水平な床面に設置
	電動機が過熱する	圧力開閉器の故障	新品と交換
		プロテクタの作動	故障原因を取り除き再起動
起動しない	電動機が回らない	摺動部の焼き付け	サービスステーションで修理
		電動機の異常	サービスステーションで修理
		プロテクタの作動	故障原因を取り除き再起動
	電動機がうなる	電圧降下	配線を規定のものに交換
		空気弁の洩れ	新品と交換
		圧力開閉器の故障	新品と交換
		逆止弁の故障	新品と交換

お願い

電動機が回転しない場合でも、次の場合は故障ではありません。

①元電源が切れている場合　⇒　元電源を入れてください。

②圧力が圧力開閉器の作動範囲内で電源を入れた場合　⇒　圧力を0.49MPa以下にして運転することをご確認ください。

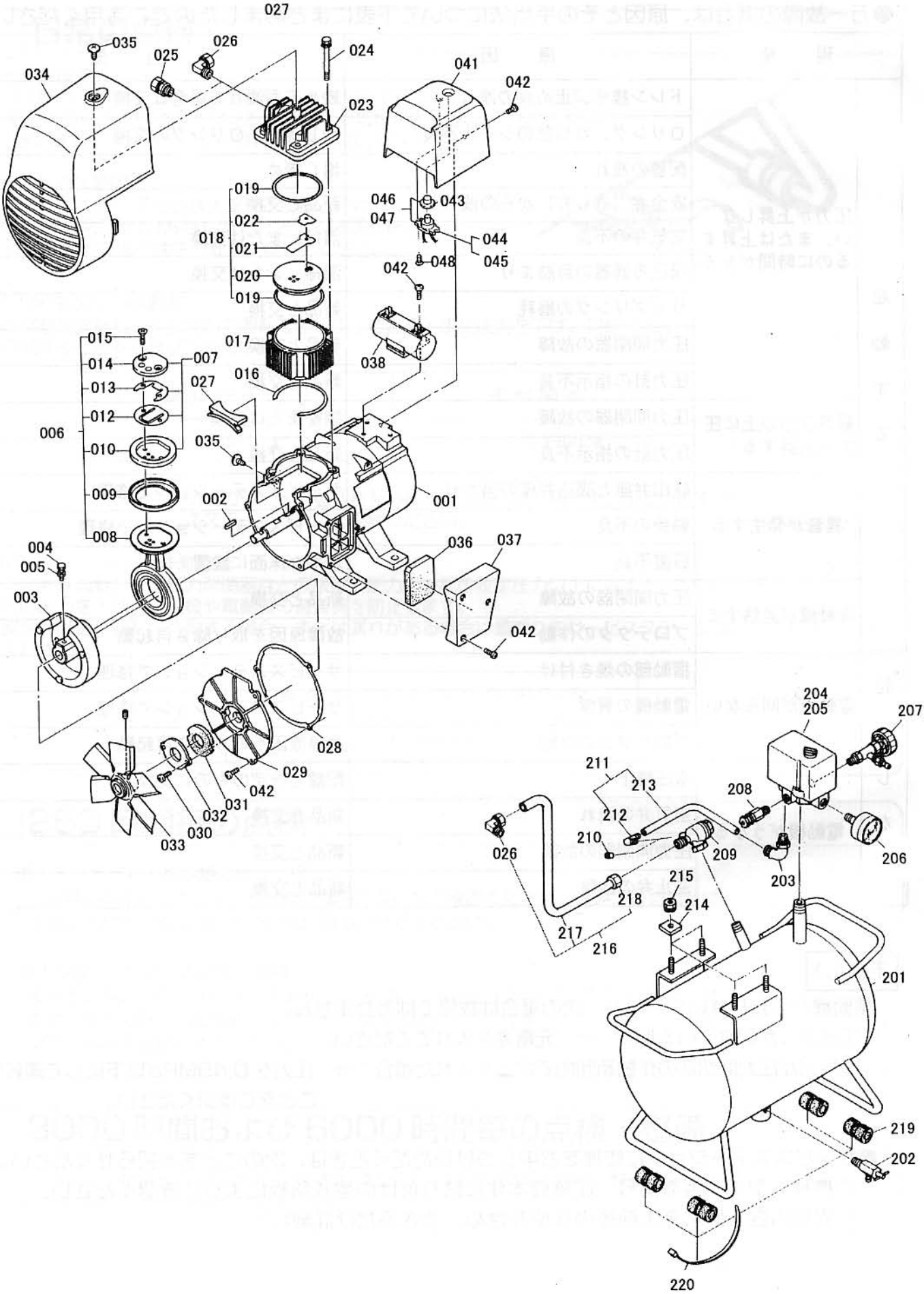
●サービスステーションに修理をお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

◇機種・型式・製造番号：圧縮機本体に貼り付けの型式銘板によりご確認ください。

◇異常内容（異常発生前後の状態を含め、できるだけ詳細に）

7. 部品展開図

[0.2LP-7S0·0.2LP-7T0·0.4LP-7SA0·0.4LP-7TA0
0.2LP-7S ·0.2LP-7T ·0.4LP-7SA ·0.4LP-7TA]

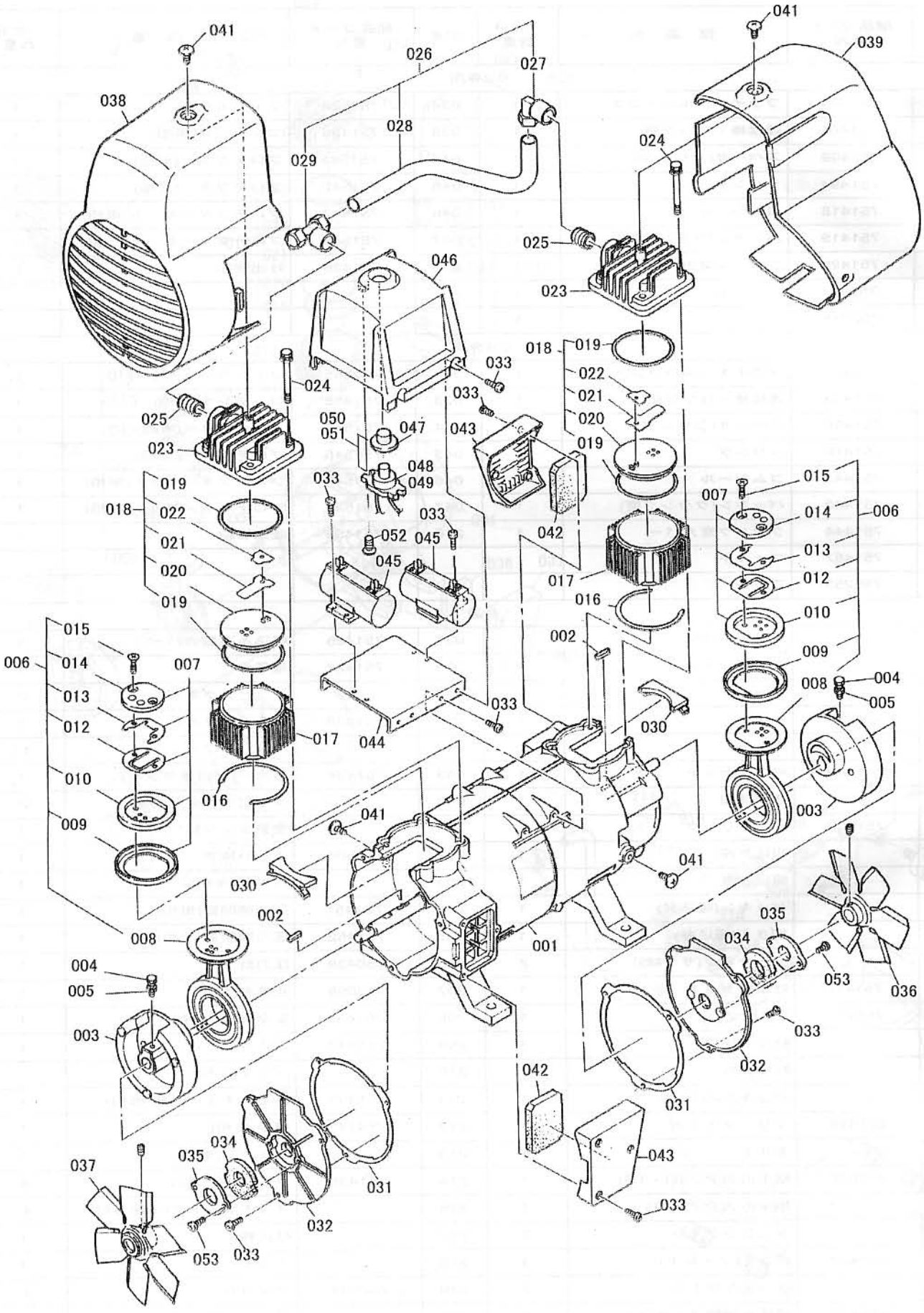


8. 部品展開図

[0.2LP-7SO・0.2LP-7TO・0.4LP-7SAO・0.4LP-7TAO
0.2LP-7S ・0.2LP-7T ・0.4LP-7SA ・0.4LP-7TA]

項番	部品コード番号	部品名	一台分数量	項番	部品コード番号	部品名	一台分数量
0.2専用							
003	751400	フライホールバランス	1	034	751423	ファンカバー	1
006	751401	連接棒・リング組	1	038	751426	コンデンサ(単相)	1
016	751409	スペーサ(シリンダ)	1	044	751541	プロテクター(単相)	1
017	751494	シリンダ	1	045	751542	プロテクター(三相)	1
027	751418	ゴムシール	1	046	751547	プロテクターセット(単相)	1
028	751419	パッキン(クランク室)	1	047	751548	プロテクターセット(三相)	1
029	751420	クランク室カバー	1	216	751436	吐出管組	1
031	751421	フェルト	1				
033	752316	ファン	1				
0.4専用							
003	751455	フライホールバランス	1	034	751445	ファンカバー	1
006	751439	連接棒・リング組	1	038	751458	コンデンサ(単相)	1
016	751456	スペーサ(シリンダ)	1	044	751543	プロテクター(単相)	1
017	751410	シリンダ	1	045	751545	プロテクター(三相)	1
027	751442	ゴムシール	1	046	751549	プロテクターセット(単相)	1
028	751443	パッキン(クランク室)	1	047	751550	プロテクターセット(三相)	1
029	751444	クランク室カバー	1	216	751459	吐出管組	1
031	751457	フェルト	1				
033	755253	ファン	1				
共通							
001		電動機(単相)	1	037	751425	吸込ろ過器カバー	1
001		電動機(三相)	1	039	751427	端子台	1
002	752389	キー	1	040		タッピングネジ	2
004		ボルト	1	041	751428	コンデンサカバー	1
005		ナット	1	042		タッピングネジ	11
007	751449	吸込弁セット	1	043	751434	カバー(プロテクター)	1
008		連接棒組	1	048		タッピングネジ(2種)	2
009	751403	リップリング	1	201		空気タンク組	1
010		吸込弁座	1	202	752504	ドレン抜き	1
012		吸込弁座	1	203		ツギテ(単相)	1
013		パッキン(吸込弁)	1	204	751451	圧力開閉器(単相)	1
014		押さえ(吸込弁)	1	205	751452	圧力開閉器(三相)	1
015		メッキネジ(サラM5)	2	206	750439	圧力計	1
018	751411	吐出弁セット	1	207	743098	止め弁(1/4B)	1
019	751412	Oリング	1	208	751431	安全弁(逃し弁)	1
020		吐出弁座	1	209	751432	逆止弁	1
021		吐出弁板	1	210		プラグ(三相)	1
022		パッキン(吐出弁)	1	211	751433	継手・チューブ組(単相)	1
023	751416	シリンダヘッド	1	212	754741	継手(単相)	1
024		ボルト	4	213		チューブ(単相)	1
025	740576	継手(0.2LP-7SO・TO)	1	214	751435	クッションゴム	4
026		継手(0.2LP-7S・T)	1	215		メッキナット(バネ座金付)	4
030		タッピングネジ	2	217		吐出管	1
032	751422	押さえ(フェルト)	1	218		ナット	1
035		タッピングネジ	2	219	752334	アシゴム	4
036	751424	吸込ろ過器フィルター	1	220		インシュロック	4

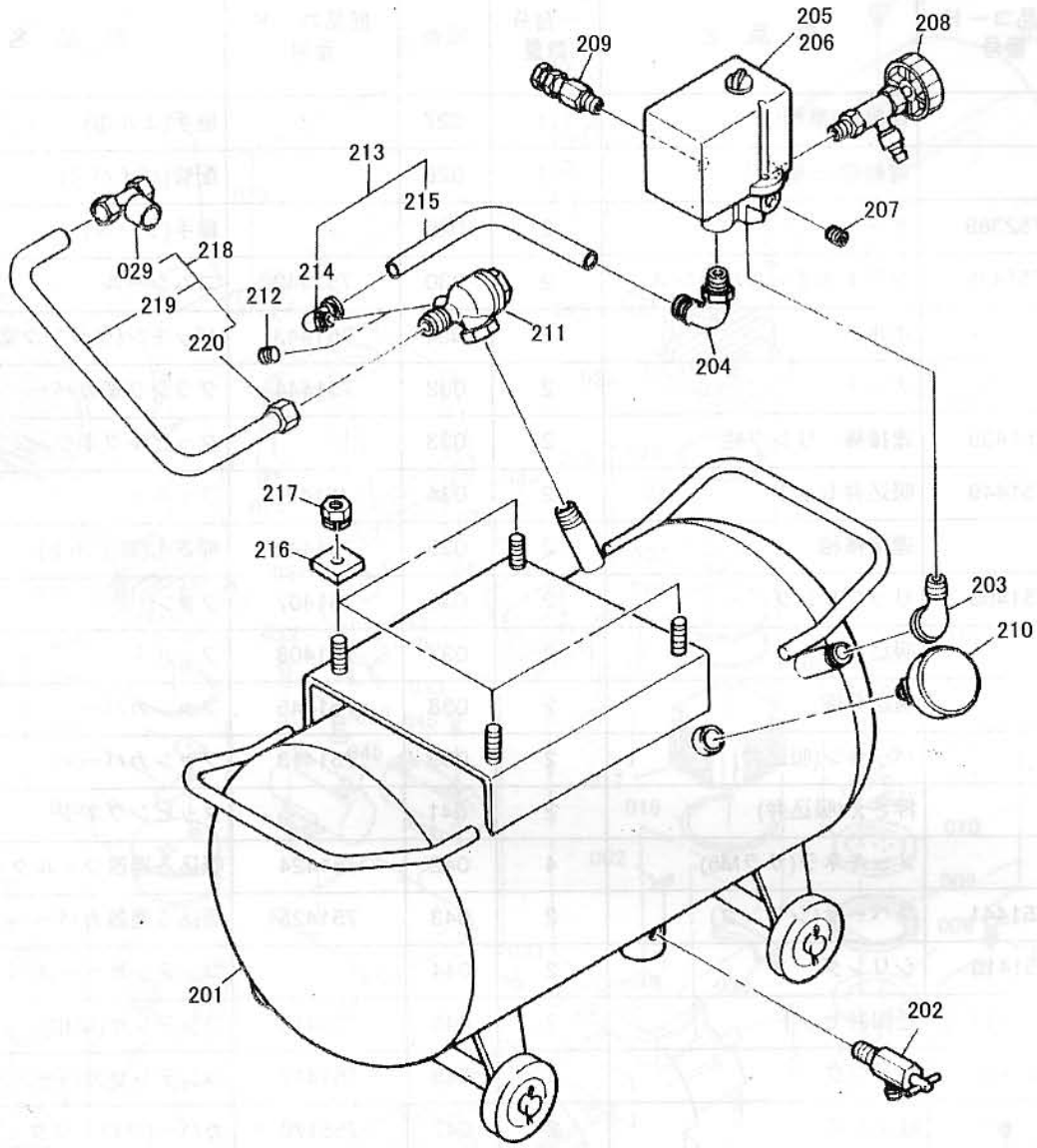
9. 部品展開図 (圧縮機) [0.75LP-7SO · 0.75LP-7TO · 0.75LP-7S · 0.75LP-7T]



10. 部品名称表 (圧縮機) [0.75LP-7S0・0.75LP-7T0・0.75LP-7S・0.75LP-7T]

項番	部品コード番号	部品名	一台分数量	項番	部品コード番号	部品名	一台分数量
001		電動機(単相)	1	027		継手(エルボ)	1
001		電動機(三相)	1	028		配管(バイパス)	1
002	752389	キー	2	029		継手(チーズ)	1
003	751438	フライホイールバランス	2	030	751442	ゴムシール	2
004		ボルト	2	031	751443	パッキン(クランク室)	2
005		ナット	2	032	751444	クランク室カバー	2
006	751439	連接棒・リング組	2	033		タッピングネジ	24
007	751449	吸込弁セット	2	034	751421	フェルト	2
008		連接棒組	2	035	751442	押さえ(フェルト)	2
009	751403	リップリング	2	036	751407	ファン	1
010		吸込弁座	2	037	751408	フェルト	1
012		吸込弁座	2	038	751445	ファンカバー	1
013		パッキン(吸込弁)	2	039	751413	ファンカバー	1
014		押さえ(吸込弁)	2	041		タッピングネジ	4
015		メッキネジ(サラM5)	4	042	751424	吸込ろ過器フィルター	2
016	751441	スペーサ(シリンダ)	2	043	751425	吸込ろ過器カバー	2
017	751410	シリンダ	2	044		コンデンサベース	1
018	751411	吐出弁セット	2	045	751415	コンデンサ(単相)	2
019	751412	Oリング	4	046	751417	コンデンサカバー	1
020		吐出弁座	2	047	755176	カバー(プロテクター)	1
021		吐出弁板	2	048	751437	プロテクター(単相)	1
022		パッキン(吐出弁)	2	049	751440	プロテクター(三相)	1
023	751416	シリンダヘッド	2	050	751448	プロテクターセット(単相)	1
024		ボルト	8	051	751450	プロテクターセット(三相)	1
025		継手(バレルニップル)	1	052		タッピングネジ(2種)	2
026	751406	配管セット	1	053		タッピングネジ	4

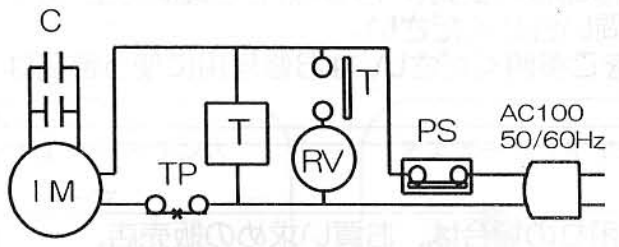
11. 部品展開図および名称表（空気タンク）[0.75LP-7S・0.75LP-7T]



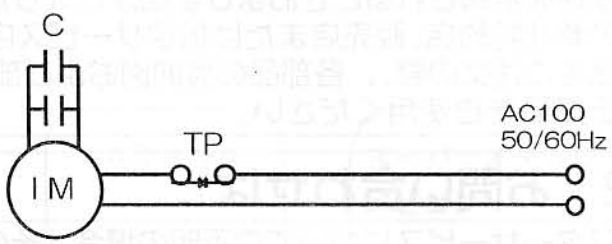
項番	部品コード番号	部品名	一台分数量	項番	部品コード番号	部品名	一台分数量
201		空気タンク組	1	211	751432	逆止弁	1
202	752504	ドレン抜き	1	212		プラグ(三相)	1
203		メスオスエルボ	1	213	751453	継手・チューブ(単相)	1
204		ツギテ(単相)	1	214	754741	継手(単相)	1
205	751451	圧力開閉器(単相)	1	215		チューブ(単相)	1
206	751452	圧力開閉器(三相)	1	216	751435	クッションゴム	4
207		プラグ	1	217		メッキナット(バネ座金付)	4
208	743098	止め弁(1/4B)	1	218	751454	吐出管組	1
209	751431	安全弁(逃し弁)	1	219		吐出管	1
210	750439	圧力計	1	220		ナット	1

12. シーケンス図

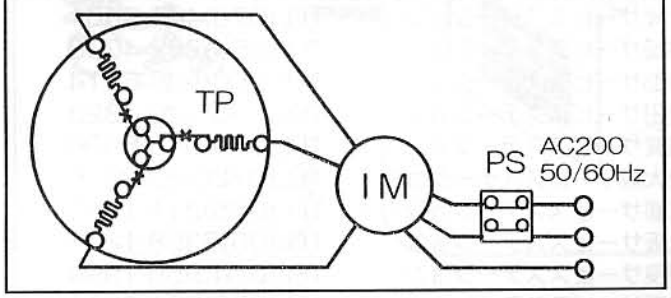
0.2LP-7S・0.4LP-7SA・0.75LP-7SA



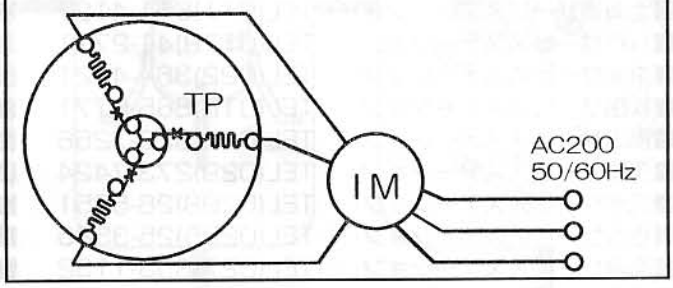
0.2LP-7SO・0.4LP-7SAO・0.75LP-7SAO



0.2LP-7T・0.4LP-7TA・0.75LP-7TA



0.2LP-7TO・0.4LP-7TAO・0.75LP-7TAO



記号	名称	記号	名称
IM	電　動　機	PS	圧力開閉器
C	コンデンサ	T	タイマー回路
TP	サーマルプロテクタ	RV	電　磁　弁

13. 仕様表

型　　式			0.2LP-7S(0)	0.2LP-7T(0)	0.4LP-7SA(0)	0.4LP-7TA(0)	0.75LP-7S(0)	0.75LP-7T(0)
出力		kW	0．2		0．45		0．75	
運転方式			圧力開閉式					
最高圧力		MPa	0.69					
圧縮機	シリンダ径(mm)x行程(mm)x数		60×15×1		60×24×1		60×21×2	
	吐出空気量(50Hz/60Hz)	L/min	19/23		45/53		76/92	
	回転数(50Hz/60Hz)	min-1	1430/1715	1410/1690	1430/1690	1400/1630	1440/1730	1400/1630
電動機	機　　種		単相コンデンサ	三相カゴ形	単相コンデンサ	三相カゴ形	単相コンデンサ	三相カゴ形
	電　源　相一電圧V		単相一100	三相一200	単相一100	三相一200	単相一100	三相一200
	極　　数		4					
	保護装置		手動復帰式サーマルプロテクタ付					
外形寸法(幅X奥行きX高さ) mm	本体(型式末尾に0)		235×153×217		275×175×248		426×175×252	
	タンク搭載型		432×210×511		560×240×599		560×326×625	
質　量 kg	本体(型式末尾に0)		7		10		18	
	タンク搭載型		15		26		37	

注：吐出空気量は最高圧力時に吐出空気量を吸い込み状態(大気圧)に換算した値です。
本仕様については、製品改良のため将来予告なしに変更することがあります。

14. アフターサービス

1 部品がご入り用の時は

ご修理を依頼されるときおよび部品がご入り用の時は銘板の型式(P.4参照)をご確認の上、最寄りの弊社特約店、販売店または指定サービス店へお問い合せください。
部品をご注文の際、、各部品の展開図および部品表をご参照ください。なお修理用に使う部品は純正部品をご使用ください。

2 お問い合わせは

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店、または下記のサービスステーションにお問い合わせください。

■北海道サービスステーション‥TEL(011)611-4121
■八戸サービスステーション‥‥TEL(0178)41-2711
■東北サービスステーション‥‥TEL(022)364-4121
■秋田サービスステーション‥‥TEL(018)865-6771
■郡山サービスステーション‥‥TEL(024)923-7256
■茨城サービスステーション‥‥TEL(029)273-7424
■筑波サービスステーション‥‥TEL(0298)26-5851
■栃木サービスステーション‥‥TEL(0285)25-3536
■高崎サービスステーション‥‥TEL(027)353-1132
■埼玉サービスステーション‥‥TEL(048)728-8521
■東京西サービスステーション‥TEL(0424)76-3881
■東京サービスステーション‥‥TEL(047)451-3111
■横浜サービスステーション‥‥TEL(0467)76-5511
■新横浜サービスステーション‥TEL(045)474-2511
■甲信サービスステーション‥‥TEL(0266)72-5581
■新潟サービスステーション‥‥TEL(025)274-6914
■沼津サービスステーション‥‥TEL(055)921-2393
■長野サービスステーション‥‥TEL(026)275-6155
■北陸サービスステーション‥‥‥TEL(076)441-3361
■静岡サービスステーション‥‥‥TEL(054)262-4796
■中部サービスステーション‥‥‥TEL(0568)25-6114
■豊田サービスステーション‥‥‥TEL(0565)29-7823
■滋賀サービスステーション‥‥‥TEL(0748)46-6606
■東大坂サービスステーション‥‥TEL(0720)83-2215
■京都サービスステーション‥‥‥TEL(075)311-1081
■大阪サービスステーション‥‥‥TEL(06)6358-1201
■奈良サービスステーション‥‥‥TEL(0743)55-1994
■神戸サービスステーション‥‥‥TEL(078)681-3811
■姫路サービスステーション‥‥‥TEL(0792)34-9571
■岡山サービスステーション‥‥‥TEL(086)263-3022
■中国サービスステーション‥‥‥TEL(082)282-8111
■山陰サービスステーション‥‥‥TEL(0854)22-5552
■山口サービスステーション‥‥‥TEL(0835)23-7705
■四国サービスステーション‥‥‥TEL(087)882-1212
■松山サービスステーション‥‥‥TEL(089)931-8788
■九州サービスステーション‥‥‥TEL(092)651-0131
■北九州サービスステーション‥‥TEL(093)582-1175
■大分中津サービスステーション‥TEL(0979)22-3634
■南九州サービスステーション‥‥TEL(099)260-2818

保証について

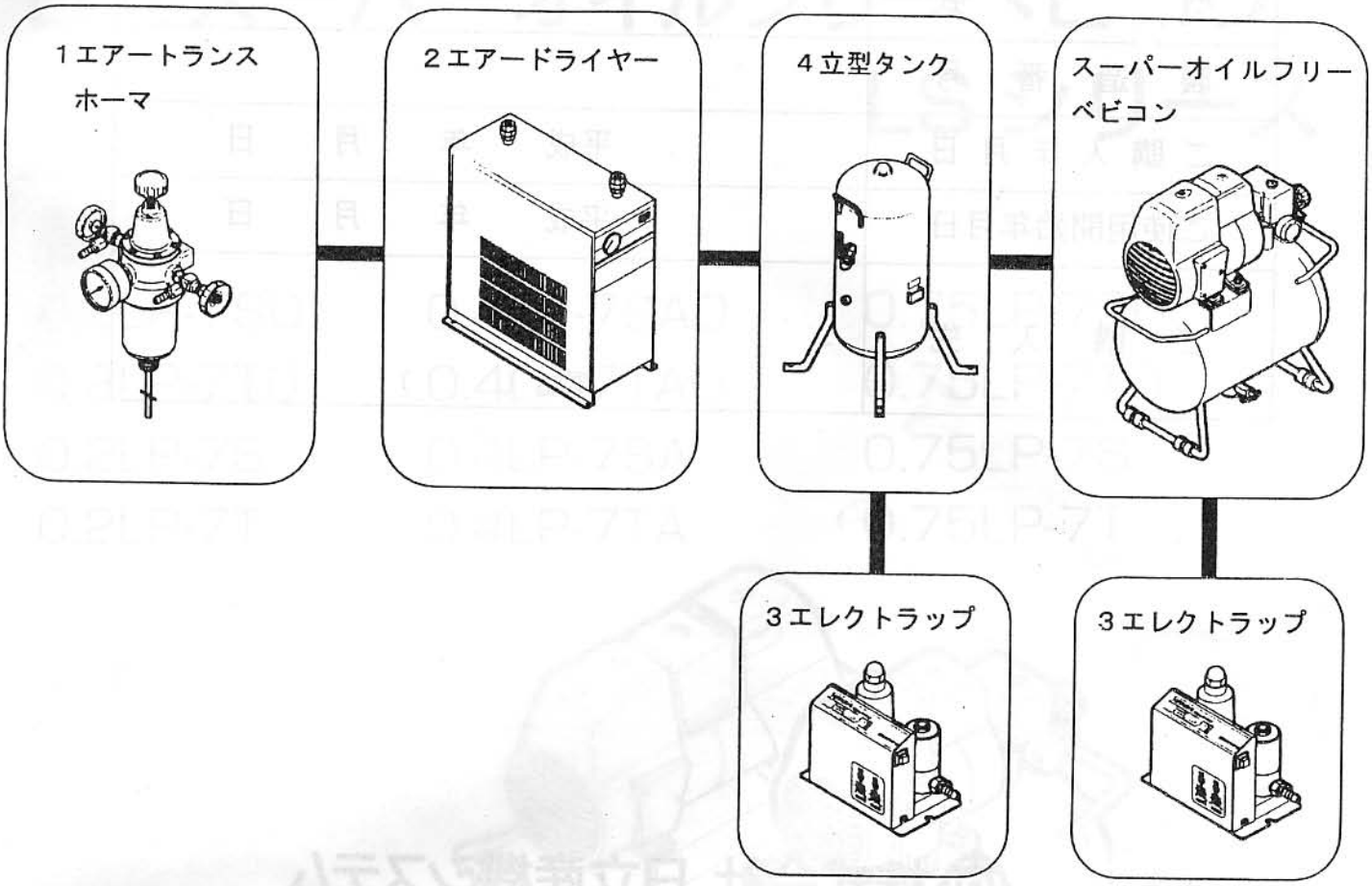
本機は、本取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で納入後一年以内もしくは3000時間のいずれか早い方を保証期間と致します。この期間内に故障または不具合が生じた場合は、無償にて修理いたします。ただし次のような場合には保証の対象外であり、有償修理扱いとさせていただきます。

1．定格をこえる圧力で使用された場合。
2．本取扱説明書に記載された使用の条件を超える過酷環境下(異常電圧、異常温度、粉じんの多い所など)で使用された場合。(P．4～5参照)
3．製品、および部品を無断で改造された場合。
4．本取扱説明書、製品本体に貼られた注意銘板に記載した注意事項および点検、整備を順守されなかった場合。
5．火災、地震および水害などの天災地変に起因する故障または不具合・盗難の場合。
6．消耗品、付属品などの交換をおこたったことに起因する故障。

＊本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償などの二次補償に対する保証は致しません。
＊本保証は日本国内で使用される場合に限り適用されます。

15. 周辺機器・オプションの有効活用

スーパーオイルフリーベビコンから得られた圧縮空気をより上手にご利用いただくために、周辺機器として次のものを取り揃えてありますので、目的に合わせてご活用ください。



用　途		名　称	仕　様
ドレンを除去し一定の圧力が必要な場合	1	エアートランスホーマ	1次圧　1.47MPa 2次圧　0.1～0.78MPa
圧縮空気中のドレンを除去したい場合	2	冷凍式エアードライヤー	冷凍式のため電源が必要 最高圧力　0.97MPa
ドレンの自動排出	3	エレクトラップ	タイマー式エレクトラップを選定してください。
空気タンク容積を増やしたい	4	立型タンク	38、55、95、150、230Lの5種類 （55L以上は「ボイラーおよび圧力容器安全規則」が適用されます）

お客様メモ

運転開始前、必ず下記空欄に必要なことがらをご記入しておいてください．点検のとき役に立ちます。

型　　式	
製 造 番 号	
ご購入年月日	平成　　年　　月　　日
ご使用開始年月日	平成　　年　　月　　日
ご 購 入 先	電話（　　）

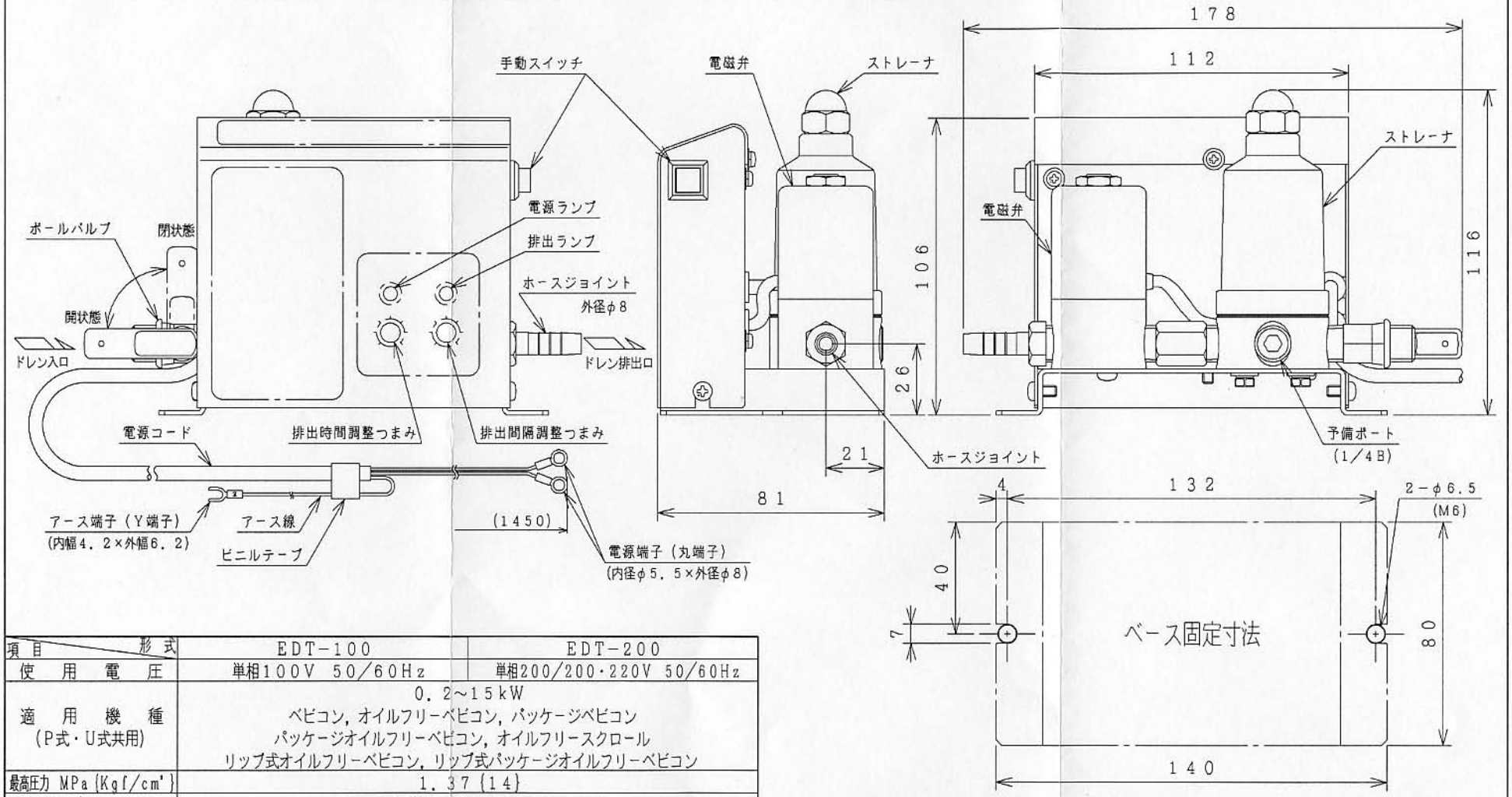
株式会社 日立産機システム

本社 営業本部 関東支社	〒261-7116	千葉市美浜区中瀬二丁目6番地WBGマリブウエスト16階	TEL(043)390-3426(ダイヤルイン)	FAX(043)390-3810
北海道支社	〒063-0814	札幌市西区琴似四条一丁目1番1号	TEL(011)611-1224(ダイヤルイン)	FAX(011)611-8433
東北支社	〒980-8531	仙台市青葉区一番町二丁目4番1号（興和ビル）	TEL(022)223-0528(ダイヤルイン)	FAX(022)223-8974
横浜支店	〒220-0011	横浜市西区高島二丁目6番32号（日産横浜ビル）	TEL(045)451-5012(ダイヤルイン)	FAX(045)451-5019
北陸支社	〒920-0853	金沢市本町二丁目15番1号（ポルテ金沢）	TEL(076)263-3251(ダイヤルイン)	FAX(076)263-3252
中部支社	〒460-8435	名古屋市中区栄三丁目17番12号（大津通電気ビル）	TEL(052)259-1154(ダイヤルイン)	FAX(052)259-1077
関西支社	〒559-8515	大阪市住之江区南港東八丁目3番45号（日立関西ビル）	TEL(06)6616-1162(ダイヤルイン)	FAX(06)6616-1071
中国支社	〒730-0036	広島市中区袋町5番25号（広島袋町ビル）	TEL(082)546-6180(ダイヤルイン)	FAX(082)546-6183
四国支社	〒760-0007	高松市中央町5番31号（中央町ビル）	TEL(087)836-0504(ダイヤルイン)	FAX(087)836-0544
九州支社	〒814-0001	福岡市早良区百道浜二丁目1番1号（日立九州ビル）	TEL(092)852-3369(ダイヤルイン)	FAX(092)844-7541

検査合格証

株式会社 日立産機システム

受注番号		顧客殿名	



項目 ＼ 形式	EDT−100	EDT−200
使用電圧	単相100V 50/60Hz	単相200/200・220V 50/60Hz
適用機種 (P式・U式共用)	0．2〜15kW ベビコン，オイルフリーベビコン，パッケージベビコン パッケージオイルフリーベビコン，オイルフリースクロール リップ式オイルフリーベビコン，リップ式パッケージオイルフリーベビコン	
最高圧力 MPa {Kgf/cm²}	1．37 {14}	
周囲温度 ℃	0〜40 (但し，ドレンの凍結無きこと)	
ドレン排出方法	電子タイマー方式	
ドレン排出構造	ドレンフィルタ（80メッシュ）＋電磁弁	
消費電力 W	6 (ドレン排出時11)	
概略寸法 (幅×奥行×高さ)	178×81×116	
概略質量 kg	1．5	
標準付属品	ゴムホース，1/4B (8A) ニップル，ビニールチューブ，1/4B (8A) ソケット (350mm) (1000mm)	

CAD−000000−00

製図	真土	'02・4・1	尺度	株式会社 日立産機システム
		・ ・	比例尺	（トキコ 株式会社 製造）
審査	林田	'02・4・1	デナイ	
承認	小田切	'02・4・1		
エレク・トラップ (電子式オートドレントラップ)				7K−3590〜1